

一宮市新水道ビジョン 概要版

1. 策定趣旨

一宮市では、平成23年度に「一宮市水道ビジョン」を策定し、「命の水を未来へ引き継ぐ一宮の水道」を基本理念として施策を実施し、計画的に水道事業を進めてきました。

今後、水需要の減少が予想される一方で、災害対策の充実や老朽化施設の更新需要の増加に対応していく必要があります。

こうしたことから、現状の把握・分析、達成状況や問題点を踏まえて計画を見直し将来を見据え、今後取り組むべき施策を具体的に示し実施するため、「一宮市新水道ビジョン」（計画期間：令和2年度～令和9年度）を策定しました。

2. 現状分析と評価（課題）

分野	分類	現状	評価（課題）
持続	施設管理	水道施設の効率的な運用に努めています。	水需要の動向により非効率な施設の停止等を検討する必要があります。
		有収率は、同規模自治体に比べて低い状況です。	管路の漏水対策等を進める必要があります。
	環境	配水量1 m ³ 当たりの電力使用量は、横ばいの推移となっています。	省エネ型設備の導入を進めることが必要です。
	経営	水道料金は、同規模自治体と比べて安く設定されています。	料金の設定が安いことは望ましい状況ですが、施設の修繕や更新に要する費用を賄うことができる料金設定が必要です。
		同規模自治体と比べて、企業債残高は高く、料金収入による収益は低い状況です。	給水収益の向上、企業債残高の低減が必要です。
	人材育成	資質向上のための研修時間と技術職員率は、低い状況です。	技術力の継承と職員数を維持することが必要です。

安 全	水質管理	残留塩素濃度は、基準値以上を確保しつつ低い値となっています。	基準値以上を確保しつつ、安全でおいしい水の提供に取り組めます。
	施設管理	浄水施設、管路の法定耐用年数超過率は、年々上昇しています。	適切な維持管理とともに計画的な更新が必要です。
強 靱	運営管理	災害時に早い対応が出来るように、上下水道事業業務継続計画や各種マニュアルを策定し、訓練を行っています。	今後も災害時により早い対応が出来るように訓練を重ね、各種マニュアル等を充実していきます。
	施設管理	配水池の耐震化率は高い水準ですが、管路の耐震率は低い状況です。	地震災害時の対応力を強化するため、浄水施設と管路の耐震化を進める必要があります。

3. 基本理念と基本方針

「命の水を未来へ引き継ぐ一宮の水道」を基本理念とし、その実現に努めます。

また、基本理念を実現するため「**持続**」、「**安全**」、「**強靱**」の各分野で基本方針を定めました。

命の水を未来へ引き継ぐ一宮の水道

水道サービスの「持続」

いつまでもお客様の近くにある水道

「安全」な水道

いつ飲んでも安全な信頼される水道

「強靱」な水道

災害に強く、たくましい水道

4. 基本方針の実現施策

基本方針を実現するための施策を「**持続**」、「**安全**」、「**強靱**」の分野ごとに示します。

